平成 29 年度 第 2 回三郷市地域福祉計画推進懇話会 会議録

会議名	第 2 回三郷市地域福祉計画推進懇話会		
開催日時	平成 29 年 11 月 21 日（火） 午前 10 時 00 分～		
開催場所	健康福祉会館 2 階視聴覚室		
議長	菊地会長	記録者	黒坂
出席者氏名 懇話会委員	（敬称略） 菊地 靖孝、大崎 ひろ子、茂木 聡美、新井 康之、高山 美年子、石渡 弘子、 山田 智恵子、寺山 友也、防越 紀子		
事務局	増田福祉部長、森福祉部副部長 ふくし総合支援課：篠田課長補佐、黒坂主事		
会議内容	<p>【 1 . 開会 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回三郷市地域福祉計画推進懇話会開会 <p>【 2 . あいさつ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菊地会長よりあいさつ ・ 増田福祉部長よりあいさつ <p>【 3 . 事項 】</p> <p>（ 1 ） 第 3 次三郷市地域福祉計画市民アンケート実施結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「第 3 次三郷市地域福祉計画（案）」に基づき事務局より説明 P 28～33 及び P 69～80 参照 <p>[アンケート概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回推進懇話会にて、委員よりご意見をいただき、無作為抽出でのアンケート実施と地区別のアンケート集計について見直しを図った。 ・ 市民の意見を計画に反映させるため、調査対象者の幅を広げ、三郷市在住の 18 歳以上の男女とし、無作為抽出による 2,000 通のアンケート調査を実施した。 <p>[調査結果報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各設問について、回答形式を「当てはまるもの 3 つまで」としているため、設問ごとの割合の合計が 100%を超える結果となっている。 ・ P 31～33 に基づき結果概要説明 ・ A～F の地区別での調査結果について、地域ごとの結果が、共通している点が多かったため、資料編 P 69～80 に記載 		

【委員より質疑・ご意見等】

- ・委員：アンケート結果より、災害時での対応について不安に感じているかたが多いという結果になっているが、この結果を計画にどのように反映するのか。

事務局：災害時の対応については、市民懇談会でもたくさんのご意見をいただいた。前回の計画にはなかった災害時の制度も設けられているため、今回の計画にこれらの制度を掲載し、進捗管理を行っていく。他の課題についても、関係課に照会の上、対象の制度や事業を精査し、対応していく。

- ・委員：資料編 P 69～80 について、地区ごとのわずかな違いを比較できるように、設問別に地域ごとの結果を表示したほうが見やすいのではないかと。

事務局：現在の案では、地区ごとに結果を公表しているが、設問ごとに表示方法を見直し、設問ごとの地区の回答を比較できるように検討する。

- ・委員：結果の表示方法について、現在横棒グラフでの表示となっているが、円グラフ等の方法は適応できないか

事務局：アンケート結果が、複数回答形式を採用したため、設問ごとの割合の合計が 100% を超えているため、円グラフは適当ではないと判断したが、結果をより見やすく表示できるように今後検討していく。

- ・委員：資料編の調査結果について、設問ごとに解説を記入したほうがいいのではないかと。

また、設問ごとの課題について、どのように計画に反映していくのか、担当課と調整の上、課題に対する具体的な事業等の対策について精査してもらいたい。

- ・委員：P 30 の地区別について、住まいの地域が一目でわかるように地図を掲載し、市役所等の公共施設を表示してはどうか。

市役所近辺にお住まいのかたと、そうでないかたの市からの情報入手方法の違い等と比較することができるのではないかと。

事務局：今後 P 30 の「住まいの地域内訳」の下に、三郷市の地図を表示する予定となっている。ご意見いただいたとおり、地域の区割りや市役所等の公共施設を表示し掲載していく。

- ・委員：アンケートの地区割りについて、自主防災組織の区割り等、分野ごとに様々な地区割りがあると思うが、計画の地区割りはどのようなものなのか。

事務局：アンケートで採用した地区割りは介護保険制度の日常生活圏域に基づいている。日常生活圏域とは、住民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情等その他の日常

生活を送る上での諸条件を総合的に勘案して定めたもの。
市内の6つの地域包括支援センターの担当エリアと同様の地区割りとなっている。

- ・委員：住まいの地域に大まかな地区名（早稲田地区等）を表示してもわかりやすいのではないかと。
また、地域別の回答者内訳について、地区ごとに割合を表示していくなかで、D地区のみ回答者が280名と多いことを表示したほうがいいと思う。

(2) 市民懇談会の実施結果について

- ・別冊「第3次三郷市地域福祉計画（案）」P34～40 参照、別紙「各会場での意見一覧」に基づき事務局より説明

[概要説明]

- ・実施会場、実施日、参加者等説明

[実施結果]

- ・別紙「各会場での意見一覧」に各会場で出た意見一覧を表示
各会場で出た課題内容及び参加者から出た解決策を説明
3会場ともに共通している課題について
誰もが気軽に集まれる場の整備等の地域交流の課題
町会加入者の減少、町会役員の成り手不足等の町会・自治会の課題
以上2点について多くのご意見があげられた。
また、災害時での町会ごとの対応や、市の災害時の取り組みについての課題があげられた会場もあった。

【委員より質疑・ご意見等】

- ・委員：市民懇談会当日の時間が少ないと思った。
障がいに対する課題が切迫しているように感じた。
- ・委員：前回の計画策定時の市民懇談会では、障がいについての課題が大きく取り上げられていなかったように感じたが、今回は障がいの家族が積極的に参加してくれたことで、発言できる場ができたことがよかったと思う。
また、障がい者が学校を卒業した後の就労について、自分に合った仕事がないことが課題であると感じる。
- ・委員：今回の市民懇談会のテーマが「市民としてなにができるか」であったが、市への要望についての意見が多いと感じた。
解決策を具体的に考える時間が短かったためだと思うが、地域の課題についてよく考える機会が必要だと感じたので、計画策定時に関わらず、頻繁に開催してもよいのではないかと感じた。

- ・委員：社会福祉協議会として共催で市民懇談会を実施した。
 今回の市民懇談会では、1つのグループに異なる団体に所属しているかたが入るようにグループ構成をおこなった。
 市民懇談会を実施して、町会等の地域のかたが、障がい者に対してどのように接していいかわからないという意見がある一方で、障がい者も町会等の行事に参加したいが、なかなか参加できないという意見があった。地域での障がい者への理解についても、学校等の教育現場での福祉教育の充実を求める意見と、学校側の福祉教育に対する取り組み等を聞いて、福祉教育について考えてみてもいいのではないかという意見もあった。グループごとに違った立場で課題や解決策を出していただけたと思う。
 また、このような懇談会を継続的に実施していくことでそれぞれの課題に対する取り組みから計画に反映していくことができるのではないかと考えている。
- ・委員：前回の市民懇談会で出た意見や課題と共通する点もあったのではないかと思う。今回出たすべての意見を計画に反映することは難しいと思われるが、1つの大きな課題に的を絞って懇談会を実施し、行政と連携して1つでも課題を実現していければいいと感じる。
 また、大勢のかたの意見を伺うために、前回同様5か所で開催できればなおよかったと思う。
- ・委員：別紙「各会場での意見一覧」は、地域の意見として参考になる資料であると感じるため、第3次計画の中で公表し、所属団体が活動をしていく上で活用することはできないか。

事務局：各会場で出た、地域の皆さまからの貴重なご意見であると認識しているため、どのような形で公表できるかを今後検討していきたい。
- ・委員：市民懇談会で出た意見について、担当課を記載し、解決策として関連付けていく方法について

事務局：市民懇談会で出たご意見と担当課で実現できる事業等のすべてが一致するとは限らないため、市民アンケートや市民懇談会で出たご意見をもとに、今後も担当課と協議を続け、市民懇談会の結果と第4章からの具体的な取り組みについてどのように関連付けていくか検討していきたい。

(3) 第3次三郷市地域福祉計画素案について

別冊「第3次三郷市地域福祉計画(案)」に基づき事務局より説明
 [第2次計画からの変更箇所]

- ・第2次計画では第1章から5章までの構成であったが、第3次計画では「計画の進行管理体制」を第1章に、「市民懇談会の実施」を「市民アンケートの実施」と併せて第2章へと組み込み、第1章から4章までとした。
- ・第2章「地域を支える人たち」の(4)NPO法人と(5)ボランティア団体・市民活動団体について、第2次計画では、分野別の団体の数のみを掲載していたが、第3次計画では、P17~22のとおり各団体名と主な活動内容を掲載し、資料編P59~68により具体的な活動内容を掲載した。現在、各団体に対し、第3次計画への掲載可否と掲載内容について依頼を行っているため、今後変更の可能性がある。
- ・第3章の「3.施策の体系」について、基本理念は第2次計画を踏襲し、基本方針及び施策の方向性は、前回の推進懇話会での委員の皆さまのご意見や内部での検討の結果、変更を行った。
また、第2次計画では、各基本方針の中で重点的に取り組む事業を1つ取り上げ記載していたが、第3次計画では「自助・互助・共助・公助」に基づいて、市民が取り組むこと、地域で取り組むこと、行政がとりくむこと等を記載する形をとった。
- ・第4章について、基本方針や施策の方向性の変更に伴い、庁内各課や社会福祉協議会等に対し、第3次計画に合致する事業の精査を依頼し、掲載している。

[パブリックコメントについて]

- ・素案を元に、11月28日(火)~12月27日(水)までの30日間でパブリックコメントの手続きを実施し、より広く第3次計画に対する市民の皆さまからの意見を伺う予定となっている。

【委員より質疑・ご意見等】

- ・委員：P20からのボランティア団体・市民活動団体、障がい団体が網羅されていないことについて

事務局：社会福祉協議会のボランティアセンターに登録されている団体の情報を元に掲載しており、障がい団体については、P23の「三郷市障害(児)者連絡協議会」に記載している。

今後、社会福祉協議会から助成等を受けている団体とボランティアセンターに登録のある団体について確認を行う。

P20からの「ボランティア団体・市民活動団体」に障がい団体を掲載するか、P23の「三郷市障害(児)者連絡協議会」の記載内容を充実させるのかも含め、社会福祉協議会と協議しながら検討する。

また、「三郷市障害(児)者連絡協議会」の中には、NPO法人や社会福祉法人も入っているため、社会福祉法人も「地域

を支える人たち」に記載していくかどうかも併せて検討を行う。

[補足：県内市町村の地域福祉計画策定状況について報告]

- ・1,741市町村中、地域福祉計画を策定している市町村：1,289市町村(74%)
上記の中で計画期間を5か年としている市町村：1,000市町村
上記の中で計画を定期的に点検を行っている市町村：683市町村
上記の中で懇話会等の評価体制を設置している市町村：468市町村

[今後のスケジュールについて]

- ・30日間のパブリックコメント実施後、本日委員の皆さまから出たご意見も含め、計画案の修正を行う。
第3回推進懇話会を1月下旬～2月上旬実施し、パブリックコメントの実施結果等のご報告を行う予定としている。

【4．閉会】

- ・第2回三郷市地域福祉計画推進懇話会閉会